

## 「tovo™」について

「tovo/トヴォ」は東日本大震災によって、親を失った子どもたちを、青森から支援するプロジェクトです。

チャリティーグッズを制作・販売し、その経費を除いた全ての収益を、長期的な子どもたちの心のケアの為、あしなが育英会へ継続的に寄付し、青森から「あなたがたのそばにいつもいますよ」と伝え続けます。

おかげさまで、**2011年6月から2018年6月現在までの総寄付金は「¥6,457,266」となりました。**10年間（2011年6月～2021年6月）の活動を目標にしています。引き続きのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

## チャリティー缶バッジなどのお取扱い店

### 【青森市】

A-Factory／アトリエカヌー／もぐらや  
oppen plaza sora／oppen plaza sena／studio antenna  
CAFE 0371／カフェ・デ・ジターヌ

### 【弘前市】

ホームワークス4th／バンブーフォレスト／津軽工房社／  
中国料理豪華楼／Garret

### 【五所川原市】

タイムスライス

### 【黒石市】

木田理容所

### 【七戸町】

TBT英会話教室

### 【岡山岡山市】

レストランMint



## MILK GLASS MUG



トヴォのミルクガラスマグ（数量限定）。2018年7月発売！

## DODESYO CARAVAN 2018

毎年、継続的にのお世話になっており感謝しております。本年も、右記「DODESYO CARAVAN 2018」会場内、通称「パツタ屋」にて限定缶バッジ販売させていただきます。どうぞよう藩士の皆様、本年も何卒宜しくお願い致します。



- ①7月12日(木) 兵庫・加東市 滝野総合公園
- ②7月14日(土) 岐阜・津市 国営木曽三川公園センター
- ③7月15日(日) 長野・木曽町 御店ロープウェイ
- ④7月16日(月・祝) 静岡・島田市 島田市中央公園
- ⑤7月18日(水) 神奈川・茅ヶ崎市 サザンビーチがさき
- ⑥7月20日(金) 新潟・南魚沼市 舞子スノーリゾート
- ⑦7月21日(土) 茨城・八千代町 八千代グリーンビレッジ遊園地
- ⑧7月22日(日) 埼玉・杉戸町 杉戸町国体記念運動広場
- ⑨7月24日(火) 福島・福島市 福島まなび館
- ⑩7月26日(木) 山形・大蔵村 肘折いでゆ館
- ⑪7月28日(土) 宮城・登米市 長沼フットピア公園
- ⑫7月29日(日) 岩手・大槌町 大槌町文化交流センター

## フリーペーパー「tovo plus™」



「tovo plus」は、tovoの発行する月刊のフリーペーパーです。月に1度、青森県内に住むご家族のお話を伺い、311当時の様子、それ以降の考え方や生活の変化を時間の経過と共に記し続けています。100号、100ヶ月、100家族が目標です。

おかげさまで、残り1/4となりました。毎月のご支援に深く感謝申し上げます。

※1年間（12号）の定期購読（1,800円）を承ります。



「ブックログのペーパー」にてPDF配信中！

<http://p.booklog.jp/users/tovo2011>

## フリーペーパー「tovo plus™」配布ご協力店

### 【青森市】

A-Factory／アピオあおもり／アトリエカヌー／  
oppen plaza sora／oppen plaza sena／OOLJEE／  
カフェ・デ・ジターヌ／CAFE0371／肴ダイニング心／  
SUBLIME／studio antenna／ヒーリングサロンLULU／  
ふたば写真館／miageru．／もぐらや

### 【弘前市】

Garret／弦や／太平洋画房／chicori／バンブーフォレスト  
弘前市役所／まちなか情報センター

### 【五所川原市】

むすぶカフェ えいぶりる

### 【黒石市】

おかしのおくら／木田理容所／津軽黒石こみせ駅

### 【板柳町】

monoHAUS

### 【七戸町】

TBT英会話教室

### 【山形県】

(有)熊谷伊兵治ナメコ生産所 くまちゃんめこ

### 【東京都】

Only Free Paper／RE:BIRTH STUDIO

### 【大阪府】

はっち

### 【岡山県】

ブックランドあきば岡山高島店／レストラン Mint

### 【広島県】

繁々-tunatuna-

【発行】代表：小山田 和正 (email: info@tovo2011.com)  
住所：〒037-0056 青森県五所川原市末広町14-1

【表紙】花束制作：Flower atelier Eika 撮影：工藤 文昭



[www.tovo2011.com](http://www.tovo2011.com)

TAKE FREE  
Vol.18 (JULY.2018)





# 今年も、 アトリエカヌー竹内さんと作る トヴォの天然藍染(2019年版) はじまりました。

昨年、2017年、藍のボランティア参加された皆様、ありがとうございました。おかげさまで、昨年の藍で染めた藍染チャリティ商品が2018年7月に発売予定です。残念ながら、昨年は不作となり、藍染に使える葉っぱが多く採れませんでしたので、今年は「てぬぐい」のみの販売となりますが、1年かけて皆で種から育てて作った各々の想いが込められたチャリティ商品です。てぬぐいに込められた想いを感じて頂けると嬉しいです。



さて、先般、2018年6月8日、藍の苗植えから、今年の「アトリエカヌー竹内さんと作るトヴォの天然藍染(2019年版)」がはじまりました。

と、その報告の前に、昨年までとは大きく変わったこととお話させて頂きたいと思います。

昨年、今まで使用させて頂いておりました青森市の畑が、事情により2018年からは使えないことになりました。様々に試行錯誤してきて、流れもつかみ、徐々に周知もされ、これからという矢先のことでした。

またゼロからかあと思うと、面倒にもなり、いっそのこと止めてしまおうかなという考えもよぎりましたが、ずっとポンヤリと頭にあったことを始める為に与えられたチャンスなのかもしれない考えるように

なり、だんだん気持ち切り替わっていききました。

10年を目標としたtovoの活動も、気がつけば残り3年となりました。はじまりがあれば、終わりもあります。数年前から僕は着陸態勢に入っています。このプロジェクトの「終活」をしながら、その着地点、つまり、終わり方を考えています。

tovoの中には様々なコンテンツがありますが、この藍染のプロジェクトに関しては、その終わり方の1つとして、どこかで社会福祉施設の方たちと一緒に進めていけたらと考えていました。つまり、彼らと一緒に試行錯誤しながら取り組んでいけたなら、目標期間を終えてtovoが解散しても、一緒に学んだ藍のプロジェクトのノウハウやコンセプトはカタチを変えて社会福祉の中に残っていくのではないかと考えていました。そのように考えると、今はいいチャンスだと思えるようになりました。

まずは、ずっと藍のご指導を頂いているアトリエカヌーの竹内さんに、その旨を相談しました。竹内さんの持っているノウハウを3年間かけて社会福祉施設の



方に教えてもらえるようお願いをしました。大変なことを押し付けているなどは感じていましたが、ありがたいことに

快諾を頂き、全面的に協力をして頂けることとなりました。

同時に、僕は一緒に取り組んでもらえる施設を探し、また、貸してもらえぬ畑を探しました。どちらも、とても時間がかかりました。大きな壁も感じました。僕自身の未熟さ、勉強不足も感じました。二転三転はしましたが、最終的に、一緒に可能性を探ってみようという施設が五所川原市内に2箇所、また、なんとか畑も五所川原市原子地区に分かりました。

と、ここまでなんとなくカタチになったのが、つい先日、5月末のことでした。

さて、今春から竹内さんは、ポットで種から苗を育てていました。今年はその苗を植えようということになっており、その準備が整ったのは6月に入ってからでした。僕の仕事の関係もあり、タイミングも合わず、急遽、平日ではありますが、2018年6月8日に、苗を植えることになりました。

当日は、僕、竹内さん、畑の管理者、2箇所の施設の方が各1名ずつ、そして、平日にも関わらずボランティアの方が1名手伝いにきてくれました。まずは、竹内さんが持ってきてくれた藍の苗を、五所川原市原子の畑の分と、五所川原市内の2箇所の施設の分に分けました。そして、集まった6人で原子の畑に藍の苗を植えました。

それぞれの施設の分は、それぞれの都合の良い日に各自で植え付けをすること(1つ

の施設では当日6月8日に植え付け完了。また、別の施設では6月11日に植え付けが完了。)になり、こうして、昨年、皆で種取りをして取った藍の種が、今年は五所川原市原子地区の畑と、そして、2箇所の社会福祉施設にも広がっていききました。

両施設に広がっていった藍が、今後どのようなカタチになっていくのか、僕1人の力ではどうにもならない部分が多々あり、現段階では僕自身も想像できないでいます。このプロジェクトのコンセプト「1年間をかけて、みんなでチャリティ商品を作る」という点は残しつつ、残りの3年間で、なんとなくでもカタチになってくれたらなあと考えています。またその都度ご報告していきたいと思っています。

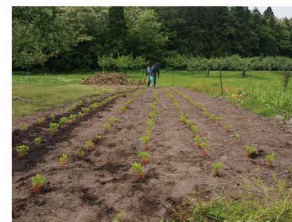
長々と書きましたが、今年も「アトリエカヌー竹内さんと作るトヴォの天然藍染(2019年版)」がはじまりました。今年植えた藍は、来年、2019年の藍染チャリティ商品となります。今年も1年をかけて、皆と一緒に作っていきたく考えておりますので、何卒宜しくお願い致します。



毎年の夏と秋の「刈り取り作業」などの時は、集まりやすい土・日にさせて頂き、もちろん「トヴォの芋煮会」も開催したいと思っています。場所は変わりましたが、これからも継続的にご支援を頂戴致したく、何卒宜しくお願い致します。

ではでは、今年も楽しみましょう！

～tovo 代表 小山田 和正



五所川原市原子地区の畑



社会福祉施設①の畑(五所川原市金木)



社会福祉施設②の畑(つがる市)